

事業者向け放課後等デイサービス自己評価表

放課後等デイサービスひまわり

袋井浅羽校

令和5年11月10日実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・身体を動かす、宿題をする、製作をする、リラックスをするスペースなど4つに分けて活動している。 ・外出等で時間をずらしながら保っている。 ・相談室の一部を学習支援に利用している。 ・職員室、訓練室を分ける事が出来ている。
	②	職員の配置数は適切であるか		○		<ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉法に基づき必要な職員数を配置している。 ・児童によってはマンツーマンの対応を行っている。 ・児童2.8:職員1(令和4年9月)
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		<ul style="list-style-type: none"> ・2階に上げる階段は急勾配だが、手すりがついている。段差には気を付けて配慮をしながら支援している。 ・視覚的資料等活用。 ・利用児の状況により改善していく。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・利用児のモニタリング、支援会議には出席し、意見交換を行っている。会議に出席できなかった職員には後日伝えるようにしている。 ・利用児の面談報告会、昼礼時に職員同士での話し合いや振り返りを適宜実施している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者とは、口頭や連絡ノートにて連絡を取り、都度改善を行っている。 ・アンケートを年に1度行っていることにより、保護者の意向を把握し、改善に繋げている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・HPに公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		<ul style="list-style-type: none"> ・今後、外部評価をしてもらい、業務改善につなげていきたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・職員にはさまざまな研修を提示し、参加を促している。 ・外部研修の機会を設け、参加している。 ・今年度は官民協働子ども育成支援事業訪問、生活介護・就労継続支援B型訪問、自閉症(当事者と家族の想い)についての研修、虐待防止の研修に参加した。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との面談後、各職員の視点から分析し確認後、計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		<ul style="list-style-type: none"> ・今後、積極的に活用していく予定。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフミーティングにて話し合い、決定している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・職員で話し合い、固定化で飽きない支援を行えるよう努めている。 ・利用児に合った工作や遊び、活動等あれば支援目標に沿うよう変更しながら取り入れている。 ・季節ごとの様々なプログラムを準備している。 ・コロナ等感染症対策を意識した取り組みも行った。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフミーティングにて話し合い、決定している。 ・楽しめるようプログラムを組んでいる。 ・1日利用の際の課題は、特にきめ細かく決めて支援している。 ・長期休暇時は事前に午前・午後と分けて事前に保護者にもプログラムの情報を伝えている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・利用児の特性に合わせて計画している。 ・毎月のプログラムに集団活動と個別活動を組み合わせ計画案を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・毎日朝礼、昼礼にて、確認を行っている。 ・また、全員が揃う支援開始前(昼礼時)に支援内容や分担等を確認し、職員間の共通理解に努めている。

	⑩	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・勤務終了後に当日の特記事項について話し合い、支援記録に記載し、職員間で情報の共有を行っている。
	⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・支援記録やヒヤリハット報告書を共有し、毎日全員が目を通すことによって、検証・改善につなげている。
	⑫	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・相談支援センターの協力をもとに実施し、計画の見直しについて検討している。
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			・様々な活動を取り入れ、多彩なプログラムを提供できるよう支援している。 ・保護者の悩みや相談を受け入れ、保護者支援も随時行っている。
関係機関や保護者との連携	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・管理者(児童発達支援管理責任者)が出席し、情報の共有を図っている。
	⑮	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・連絡ノート、校舎LINEアプリ、送迎時等に保護者と連絡を取り合い、情報交換を行っている。 ・関係機関のホームページ活用や送迎時、学級担任の職員に聞き取りを行っている。
	⑯	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			・今現在医療的ケアが必要な利用児はいない。 ・医療的ケアが必要な児童にはひまわり袋井駅前校を案内している。
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・必要に応じて情報共有に努めている。
	⑱	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・現在は該当する児童がいない。 ・卒業した利用児の支援情報を保管し、共有できる体制を整えている。
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			定期的な連絡を取り合っている。専門機関が校舎に来校し、利用児の様子を見ながら助言を受けることもしている。今後も継続していく。
	⑳	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		・雨の日など児童館は、よく利用している。児童によっては地元の小学生達と交流もできている。 ・放課後児童クラブに関しては、今年度も感染症対策によりできるだけ交流は控えている。
	㉑	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			・法人として参加している。 ・実施がある場合は、常勤が積極的に参加している。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・モニタリングや送迎時、連絡帳などで、保護者から聞き取りを行い、共通理解を持てるようしている。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		・現在、後方支援は行っているが、全体としてのペアレント・トレーニングは実施できていない。 ・今後スケジュール調整を行い、保護者と話ができる機会を作っていく予定。
	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約の際には重要事項説明書の説明を必ず行っている。 ・変更などがあった場合には速やかに文書で保護者に連絡している。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・連絡ノートや送迎時に対応している。 ・できる限り保護者の気持ちを受け入れ、寄り添った支援を行っている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		・今年度は通常通り保護者会を開催した。研修会参加や共にグループワークなどを行ってもらうことによって連携を深められるよう支援していく。案内を渡していても、参加人数が少ない事を考慮し保護者会内容については検討していく。

保護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から連絡があったものや伝え方が良いと思う事に関しては、連絡ノートや校舎LINEアプリを活用し、出来事をわかりやすく伝え、安心して利用できるよう工夫している。 ・職員間の報・連・相は確実に行っている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・ひまわり通信やブログを通じ、保護者に明確な情報を伝えることができるよう工夫している。 ・長期休暇の様子は連絡ノートに写真等も添付し伝えている。 ・定期的に活動内容のわかるようブログ配信も発信している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・職員には個人情報の取扱い誓約書に署名してもらい、同意を得ている。 ・個人情報取り扱いに関する規定を定めている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・絵カードや写真を使用して、視覚的アプローチなどの支援を行っている。 ・分かりやすい表示、言葉かけを行っている ・送迎時、連絡ノート、LINEアプリ等を用いて、具体的な活動の様子を伝え、情報の共有をしている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止の観点から今年度は未実施。 ・地域で買い物支援、近隣公園のボランティアごみ拾いを行った。
非常事等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・職員には校舎内に掲示し、周知している。 ・保護者には紙面で周知しているものもある。(台風や感染症のお知らせ等) ・契約時に説明をし、変更等があれば随時伝えている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・校舎避難計画に基づき、今年度は火災・水害・不審者・地震と年4回実施した。 ・非常災害時にも対応できるようにしている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・通常、地域自立支援協議会の研修がある場合は参加している。 ・社内研修で全職員虐待防止研修を受けている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束の対象、可能性のある児童は個別支援計画書に記載、保護者へも確認をしている。 ・身体拘束を行う際の条件を決め、保護者に事前に説明し、了解をとるようにしている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーについて保護者から聞き取りを行い、アレルギー対応シートに記載、支援児に配慮している。 ・対応が必要な利用児については、おやつを摂る部屋の壁面に注意事項を添付し、複数の職員間で確認できるようにしている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットを作成後、打ち合わせで全員に周知している。 ・対策は日々の昼礼の伝達事項などで共有、話し合いを行っている。